

平成24年3月期 決算の概要

当期のクローラクレーンの需要は、欧州財政問題などにより世界経済が不透明感を増す中、新興国地域を主体に増加し、先進国地域においても一部地域が回復の兆しが見えるなど、世界全体では前期より増加しました。しかしながら、為替の超円高の定着や資材価格の上昇などにより、当期においても極めて厳しい事業環境で推移しました。

国内市場は震災の影響による経済への打撃が最小限に留まり、復興需要や民間設備投資によって緩やかではありますが、回復の兆しが出てきており、クローラクレーン新車需要は前期比4%の増加となりました。

海外市場は主要市場の米国では景気回復により新車需要は緩やかな回復基調に転じましたが、西欧では財政問題の影響により引き続き低迷しております。一方、新興国地域においては、中国は政府の金融引き締め策によってリーマンショック後の急激な増加に一服感が見られましたが、インドを始めとするその他アジア地域では増加基調にありました。これにより世界需要は前期より増加しましたが、国や地域によっては回復が遅れており、依然、斑ら模様でありました。

こうした市場環境の中、当社は原価低減、固定費低減、在庫削減など各種施策に邁進した結果、当期の業績は以下の通りとなりました。

【平成24年3月期の経営成績（連結）】

	対前期 売上高		対前期 営業利益		対前期 経常利益		対前期 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
当期	27,068	(16.9)	494	—	455	—	161	—
前期	23,150		△ 2,238		△ 2,311		△ 2,316	

国内事業については、新車販売台数は前期比減少しましたが、比較的単価の高い機種の販売や、サービス部品の拡販に取り組んだことにより、当期の国内売上高は13,169百万円（前期比12%増）となりました。

海外事業については、北米ではLink-Belt Construction Equipment Company、欧州地域においては、Hitachi Construction Machinery (Europe) N.V.、中国では子会社の日立住友重機械建機起重機（上海）有限公司など各地域の代理店と連携し、代理店の販売支援や新興国市場の開拓に努めた結果、当期の海外売上高は13,899百万円（前期比21%増）となりました。

世界経済は引き続き、先行き不透明な状況ではありますが、国内では震災復興需要、北米はエネルギー関連による需要増加、加えてアジアを中心とした新興国市場の増加が見込まれることから、クローラクレーン市場の世界需要は緩やかな回復基調で推移することが予想されます。

このような状況下、当社は下記の重点方針を推進することで、引き続き競争力の有るスリムな事業体質の構築を目指します。

- 1) 徹底した原価低減の推進
- 2) 市場要求に合った新機種開発の推進
- 3) 関係会社及び代理店との連携強化による顧客満足度のさらなる向上
- 4) 固定費圧縮の継続
- 5) キャッシュフローの改善
- 6) 内部統制を重視した企業体質の強化

(お問い合わせ先)
日立住友重機械建機クレーン株式会社
経営企画部
Tel/ (03)3845-1386 Fax/ (03)3845-1379
〒110-0015 東京都台東区東上野六丁目9番3号
URL/ <http://www.hsc-crane.com>